

# 燕市屋内こども遊戯施設 基本設計における施設機能のコンセプト

令和6年4月  
燕市



本データは、「燕市全天候型子ども遊戯施設設計業務」における「基本設計報告書」の中から、施設機能のコンセプトに係る部分を抜粋したものです。なお、施設の完成までに内容が変更となる場合があります。

## 1. 計画の理念

### (1) 事業背景

猛暑や豪雪が続く昨今、子どもたちが屋外で遊ぶ状況が難しくなっています。その一方で、幼児期の遊びを中心とした身体活動が心の育成や社会適応などの重要であることが近年明らかになってきています。こうしたことを踏まえて、本事業では、天候に左右されず遊ぶことができ、子どもたちの心身の健やかな成長を支援する、全天候型子ども遊戯施設を整備します。



## (2) 基本方針

事業背景及び「第2期燕市子ども・子育て支援事業計画」の基本理念のもと、以下のコンセプトを設定し3本柱を軸とした全天候型子ども遊戯施設を計画します。

# 誰もが楽しめ、みんなに愛される、まちのひろば

計画の3本柱

## 1 みんながワクワクする場

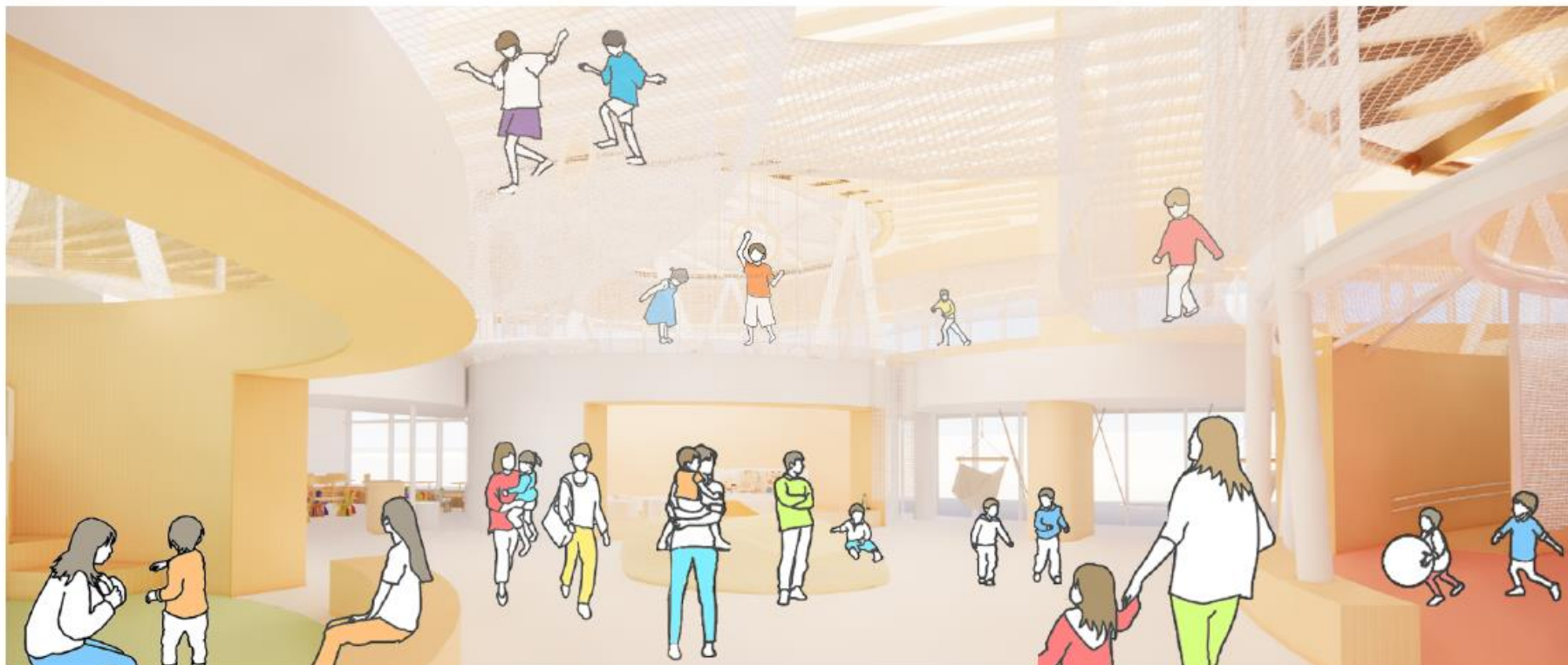
- ・子どもたちも大人もワクワクする遊び場
- ・障がいのある子もいない子と一緒にワクワクする空間
- ・近隣施設との連携で地域全体でワクワクする場をつくる

## 2 子どもの成長を後押しする場

- ・子どもたちのチャレンジ精神を刺激する遊び場
- ・運動神経がよくなる36の動作を取り入れた遊びの提供
- ・異年齢同士の交流により社会性を育む

## 3 子育て世代が安心できる場

- ・子どもたちの成長を見守れる場
- ・子育て世代が利用しやすい環境を整える
- ・親しみが持てる空間づくり



### 3. 平面計画

#### (1) 平面計画の基本的な考え方

##### 1) 3つのゾーンをひとつの空間につなぐ

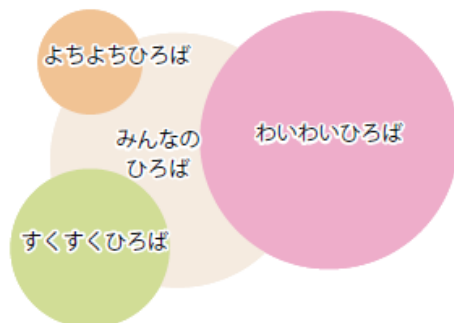
###### ①子どもたちの成長に合わせて「3つのひろば」を設定

- ・ 体格、運動能力、成長度が異なる様々な子どもたちが、それぞれの成長に応じた遊びができるように、以下の「3つのひろば」を設定します。

よちよちひろば (0～2歳程度対象)

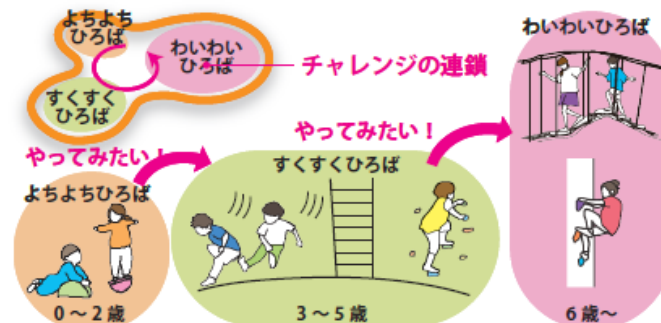
すくすくひろば (3～5歳程度対象)

わいわいひろば (概ね6歳以上対象)



##### ②3つのひろばをゆるやかにつなぐ

- ・ 3つのひろばをゆるやかにつなげて、遊び場全体を大きなワンルームとして構成します。
- ・ 小さな子どもたちからも年上の子どもたちの遊びが見えるようにして、より活発に身体を動かすことにチャレンジしたくなる環境をつくります。



##### 2) 子ども成長に合わせて見守りの空間

###### ①よちよちひろば

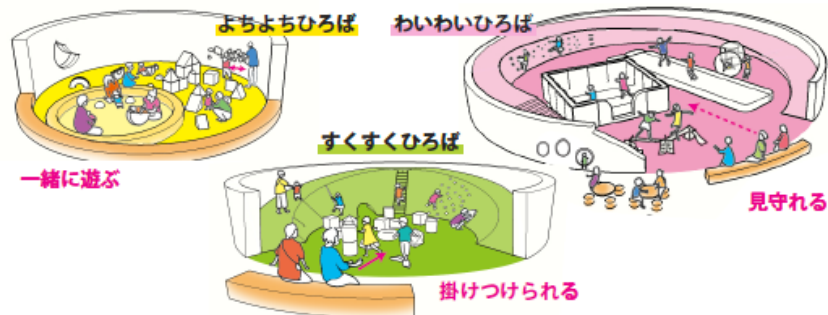
- ・ 保護者が付き添える場所にします。

###### ②すくすくひろば

- ・ 声が届き、すぐに駆け付けられるように見守り場所を設定します。

###### ③わいわいひろば

- ・ 子どもたちの動きが活発になるので自分の子どもがどこにいるのが確認できるよう見通しのよい空間にします。



##### 3) 障がいの有無を越えたインクルーシブな遊び場

- ・ 身体的な障がいや発達障がいなどのあらゆる障がいの有無だけではなく、成長速度や感性の違いなど子どもたちそれぞれの個性を尊重し、自分らしく、そして交流を通して互いを理解し合えるインクルーシブ (包括的) な遊び場をつくります。
- ・ すべての子どもが一緒に楽しく遊ぶことを目指して右記の5つのポイントを重視した施設をつくります。

1. みんな同じ遊びができる  
Point.1  
すべての子どもと一緒に同じ遊びの楽しさを味わえる空間とします。

2. 五感を刺激する  
Point.2  
五感を刺激することで、子どもの感性を育て、遊びの幅を広げます。

3. 自分にあった遊びを選べる  
Point.3  
身体能力とこころの個性に合わせて自ら遊びを選び楽しめるようにします。

4. 落ち着ける  
Point.4  
クールダウンスペースを設けて、パニック発作時に落ち着けるようにします。

5. 誰かとながる  
Point.5  
個性の違う子どもたちが一緒に遊び、楽しさを増幅、共有できるようにします。



## 2) 2階の平面計画

### ①つなりのみち

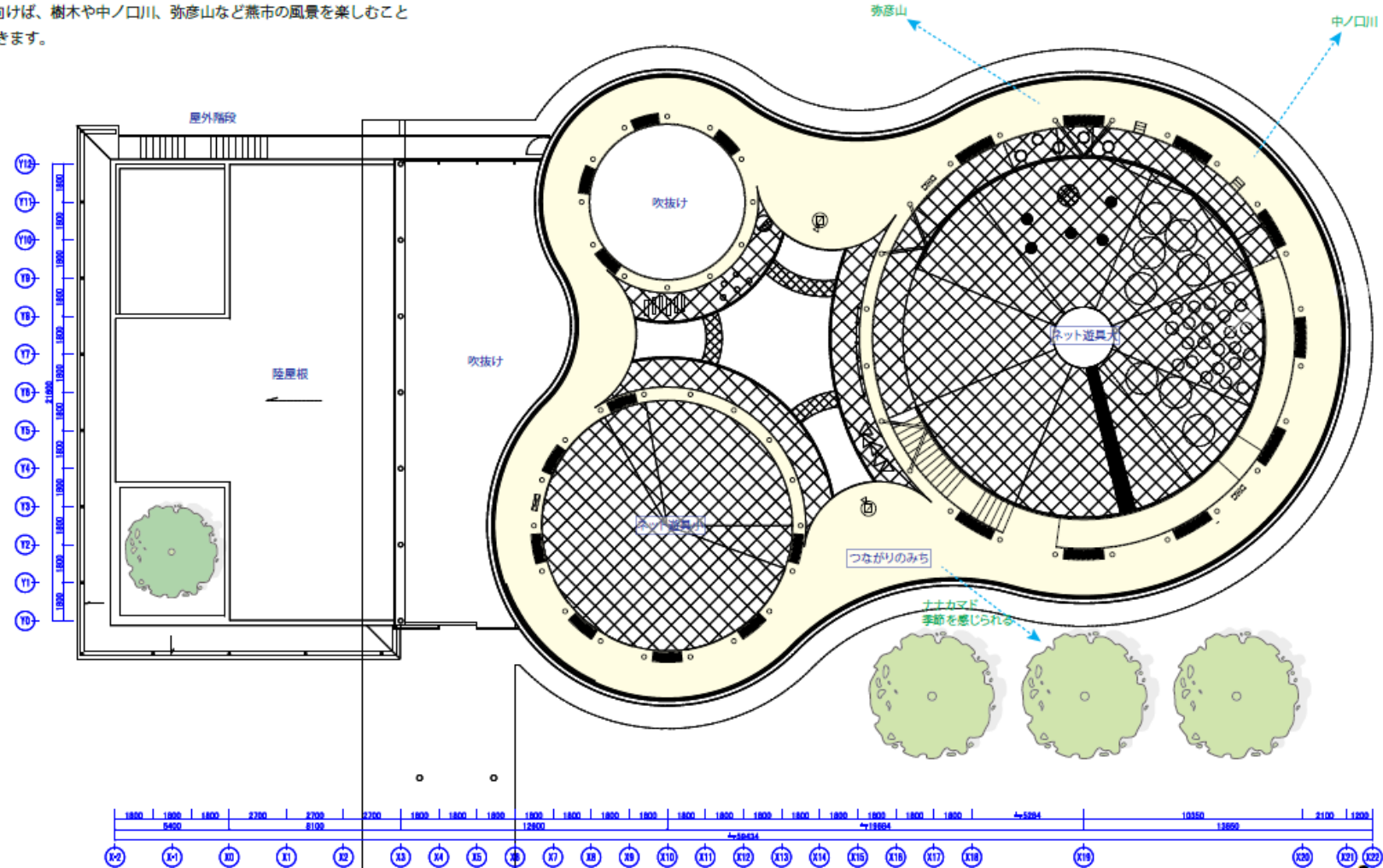
- ・3つのひろばの外周にはランニングコース「つなりのみち」を設け、大きな子どもたちから小さな子どもたちの遊びが見えるようにします。
- ・外を向けば、樹木や中ノ口川、弥彦山など燕市の風景を楽しむことができます。

### ②ネット遊具

- ・すくすくひろばと、わいわいひろばの上部にはネット遊具を設け、子どもたちの遊びの接点をつくり子ども同士の交流を促します。

### ③屋外階段

- ・緊急時には避難がしやすいよう屋外階段を設けます。



2F



S=1:200

### (3) 動線計画

#### 1) 1階の動線計画

##### ①風除室から遊び場

- ・本施設は館内全て上足とし、風除室から遊び場への動線上にくつ履き替え及び下足入れ、受付を配置します。

##### ②遊び場からトイレ

- ・子どもたちが容易にトイレに行きやすいよう、特におむつの取れた小さい子どもが自らトイレに向かえるように、こども用トイレは遊び場に近く見つけやすい位置に配置します。

#### 2) 2階の動線計画

##### ①つながりのみちからネット遊具

- ・ネット遊具へのアクセスはつながりのみちからさまざまな遊具と結びついてアクセスできるようにします。
- ・車いすを利用する人でもネット遊具にアクセスできるよう配慮します。

##### ②ルートをショートカットするネットトンネル

- ・つながりのみちからみんなのひろばへ、ショートカットできるルートとしてネットトンネルを設けることで遊びの幅を広げます。

#### 3) 縦動線計画

##### ①階段・スロープ

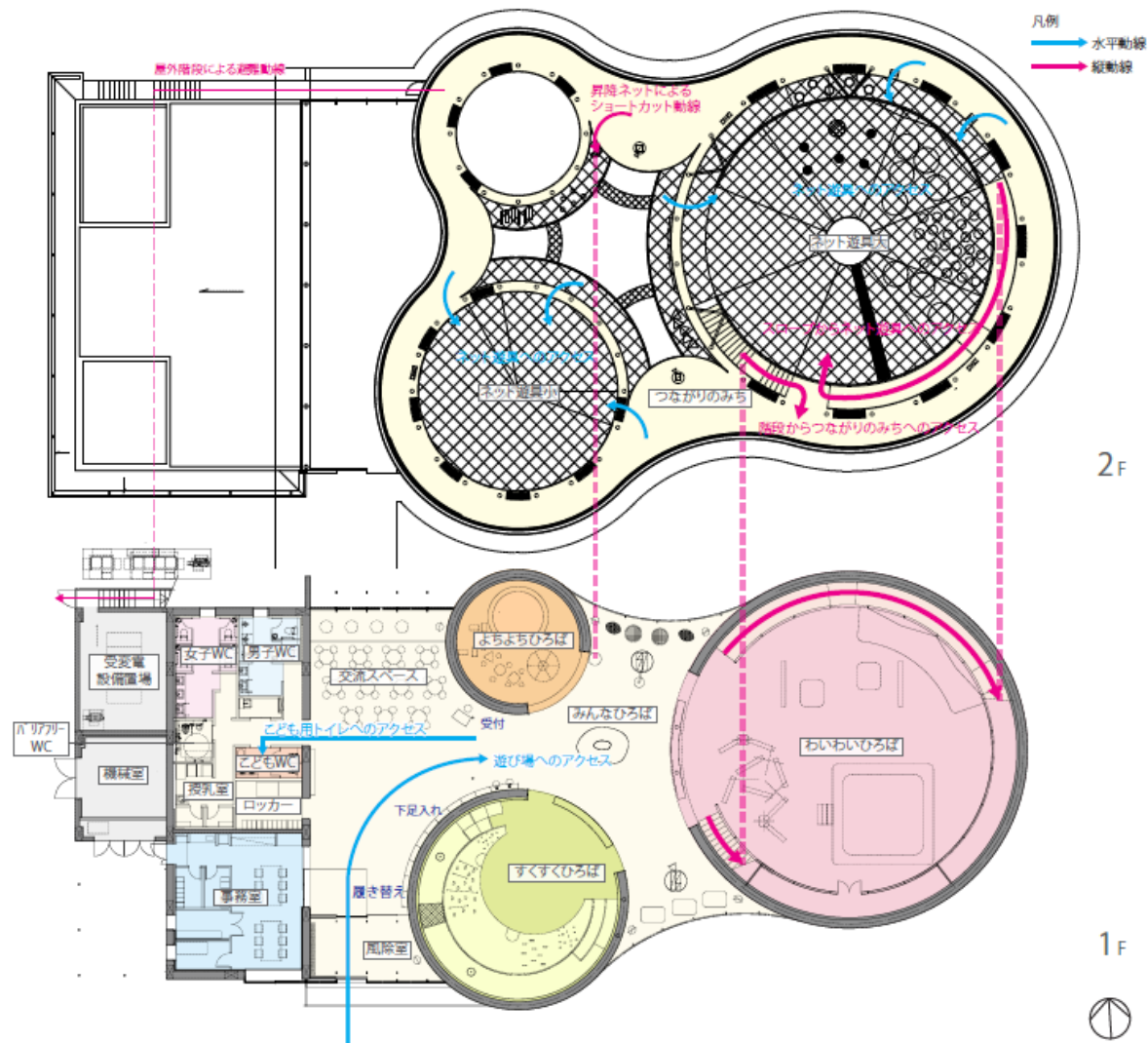
- ・だれでも2階へアクセスしやすいよう、みんなのひろばに近い位置に階段及びスロープを配置します。
- ・車いすの人でも2階に登りやすいよう、スロープの勾配は1/12で計画します。

##### ②昇降ネット遊具

- ・上下をつなぐルートとして昇降ネット遊具を設けることで遊びを通して動作を幅を広げます。

##### ③屋外階段

- ・緊急避難動線として屋外階段を設けます。



※「こども用トイレ」は、設計変更によりなくなりました。代わりに、オムツ替え室を配置します。

## 6. 内部空間の計画

### (1) 内部空間の基本的な考え方

#### 1) 温もりとチャレンジ精神を促す内観

①子どもたちにやさしい温もりのある木材を使用する

・ひろばや交流スペースの天井や、家具には木材を使用することで温もりのある空間とします。



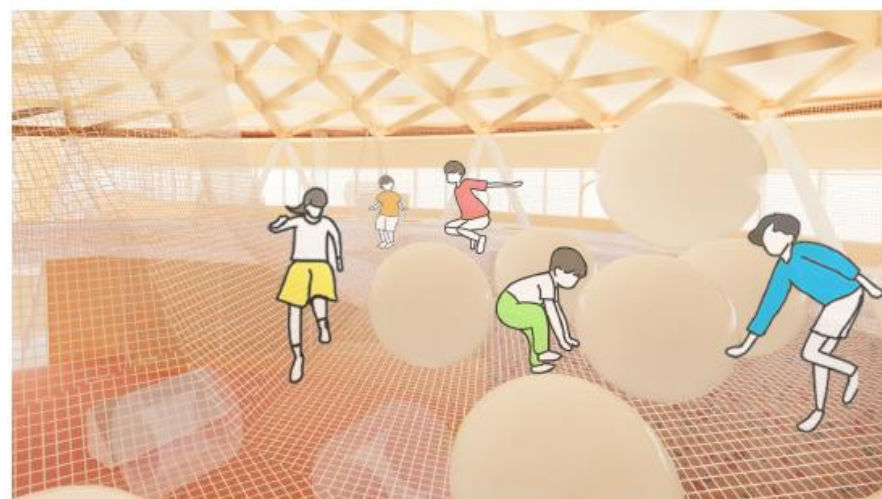
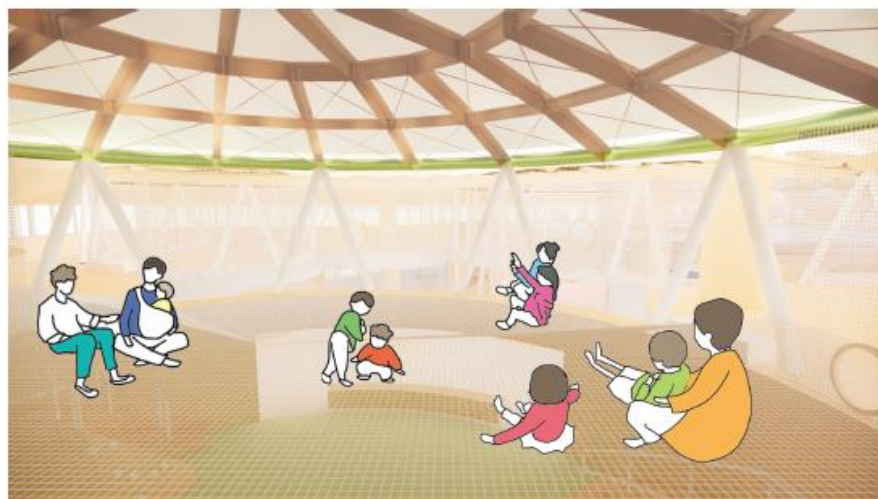
②色分けにより、ワクワク感と場所の性質を明確に分ける

・彩度の高い色彩をひろばや家具の一部にアクセントとして使用することで、ひろばの個性を出すとともに、遊び場として楽しい空間とします。



③金属加工技術が盛んな燕ならではの装飾をデザインする

・燕市が誇る金属加工技術をサインや装飾で活用することで、燕市ならではの施設として親しみやすい空間とします。





## (2) 遊び場の計画

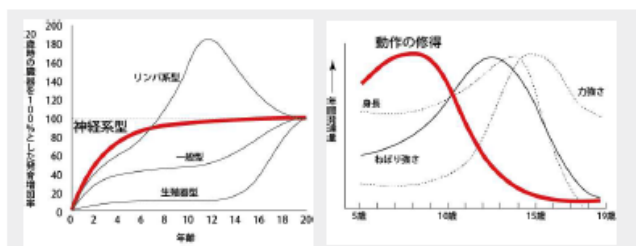
### 1) 遊び場全体に対する考え方

#### ①科学的根拠に基づいて身体能力を発達させる

・0～12歳頃の子どもの動作の習得の発達量が大きく、この時期に多様な動作を習得することで脳と神経系の発達を促すことができます。

#### ②36の動作を取り入れる

・子どもの身体能力の発達を促すために中村和彦氏が提唱する『運動神経がよくなる36の動作』を参考に、年齢ごとに合わせた36の動作を数多く組み込んだ遊び場とします。



参考：スキヤモンの発育曲線



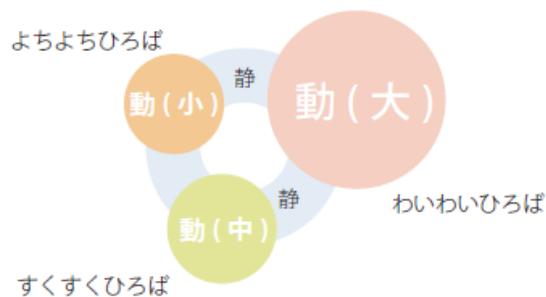
出典：『運動神経がよくなる本』

#### ③子どもの成長に合わせて遊び場を段階的に分ける

・体格、運動能力、成長度が異なる様々な年齢の子どもたちが、それぞれの成長に応じた遊びができるように、遊び場を0～2歳、3～5歳、6～12歳の3つのエリアに分けて構成します。

#### ④個性を尊重し、自分らしく遊べる空間を構成する

・対象年齢ごとのエリア分けに加えて、3つのエリアの間に落ち着いた遊びができるスペースを設け、活発に遊ぶだけでなく性格や個性にあった遊びを楽しむことができるようにする



### 2) 『運動神経がよくなる36の動作』について

・36の動作は大きく3つに分けられます。

#### 1つ目が「バランス系動作」

「立つ」「起きる」「まわる」「組む」「渡る」「ぶら下がる」「逆立ちする」「乗る」「浮く」の9つ

#### 2つ目が「移動系の動作」

「歩く」「走る」「跳ねる」「滑る」「跳ぶ」「登る」「はう」「くぐる」「泳ぐ」の9つ

#### 3つ目が「操作系の動作」

「持つ」「支える」「運ぶ」「押す」「押さえる」「こぐ」「つかむ・つまむ」「当てる」「捕る」「わたす」「積む」「掘る」「振る」「投げる」「打つ」「蹴る」「引く」「倒す」の18個

バランス系動作



移動系の動作



操作系の動作



36の動作一覧

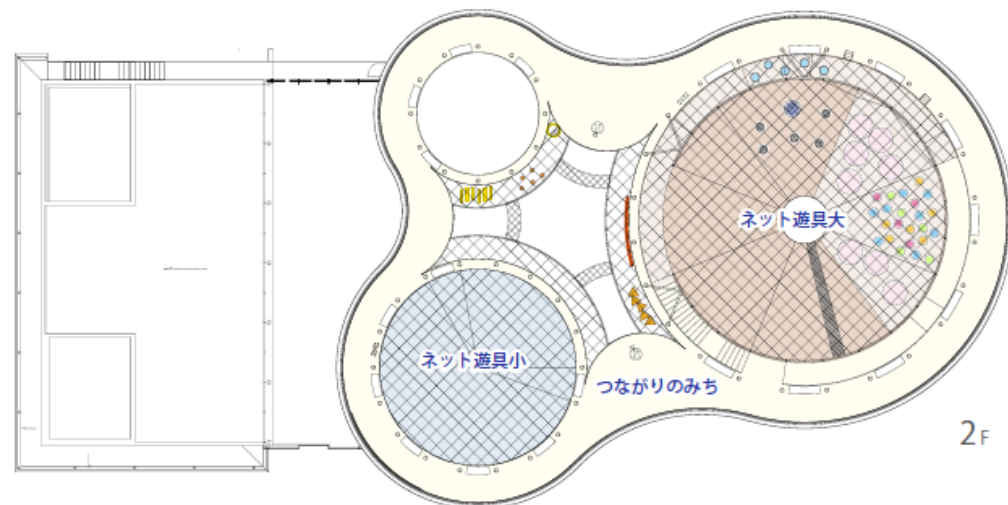
### 3) 運動発達と36の動作の関係

- ・0～12歳頃の子どもの運動発達と36の動作を整理しました。(下図)
- ・幼児期から小学生になるにつれて水平運動から垂直運動及び複雑な動きの習得になることから、遊具場においても各ひろばには動作習得の流れに合わせて遊具空間を構成します。(右図)

年齢	乳幼児			幼児			小学生						
	0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才	7才	8才	9才	10才	11才	12才
身長	男子 49.0cm	74.8cm	86.7cm	95.1cm	101.8cm	111.2cm	116.4cm	123.4cm	129.1cm	134.0cm	139.9cm	146.6cm	153.3cm
	女子 48.5cm	73.4cm	85.3cm	93.8cm	100.8cm	110.6cm	116.4cm	122.2cm	128.4cm	134.5cm	140.7cm	147.0cm	152.8cm
	平均	48.8cm	74.1cm	86.0cm	94.5cm	101.3cm	110.9cm	116.4cm	122.8cm	128.8cm	134.3cm	140.3cm	146.8cm
運動発達	動きの調節し始める 階段をのぼる			全身を使った動き 複雑な動き			心肺機能を高める						
	ひとり立ち 歩く			用具を操作する			敏捷性、筋力、バフンス能力を高める						
	おぼり はいはい つかまり立ち			バフンスをとる、 重心を移動させる			ルールを 理解できる						
用具を操作・力試しの動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知る</li> <li>・倒す</li> <li>・押す</li> <li>・蹴る</li> <li>・打つ</li> <li>・当てる</li> <li>・捕る</li> <li>・投げ</li> <li>・引く</li> <li>・握る</li> <li>・こく</li> <li>・蹴す</li> <li>・支える</li> <li>・締む</li> <li>・遊ぶ</li> <li>・解く</li> <li>・持つ</li> <li>・解く</li> </ul>												
体を移動する動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登る</li> <li>・泳ぐ</li> <li>・跳ぶ</li> <li>・滑る</li> <li>・跳ねる</li> <li>・走る</li> <li>・歩く</li> <li>・くぐる</li> <li>・はう</li> </ul>												
体のバフンスをとる動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶら下がる</li> <li>・逆立ち</li> <li>・解く</li> <li>・回る</li> <li>・蹴る</li> <li>・歩く</li> <li>・滑る</li> <li>・立つ</li> <li>・超える</li> </ul>												

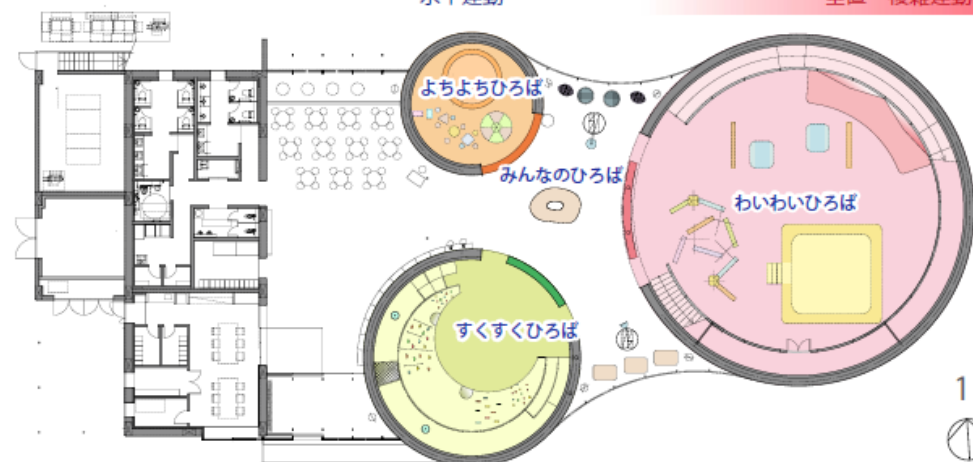
水平運動

垂直・複雑運動



水平運動

垂直・複雑運動



S=1:300

4) エリアごとの対象年齢と主に当てはまる 36 の動作



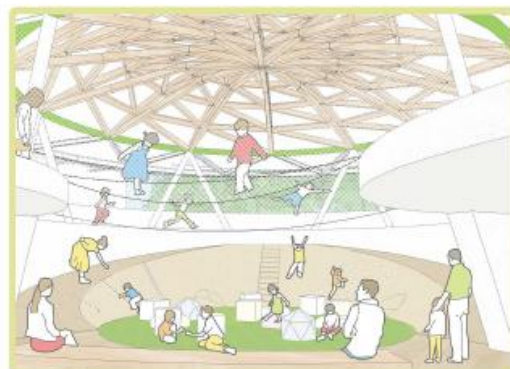
【よちよちひろば】

0～2歳を対象としたエリア



【すくすくひろば】

3～5歳を対象としたエリア



【わいわいひろば】

6～12歳を対象としたエリア



【みんなのひろば】

全年齢を対象としたエリア



【つながりのみち】

全年齢を対象としたエリア



5) 3つのひろばの特徴



【よちよちひろば】

0～2歳を対象としたエリア

ひろば全体を柔らかい素材のベンチで囲うことで、他のエリアと区画され、安心して遊ばせることができる



一緒に遊べる



【すくすくひろば】

3～5歳を対象としたエリア

多彩な動作の習得過程にある幼児が様々な遊び方を通して、生き生きと成長できる



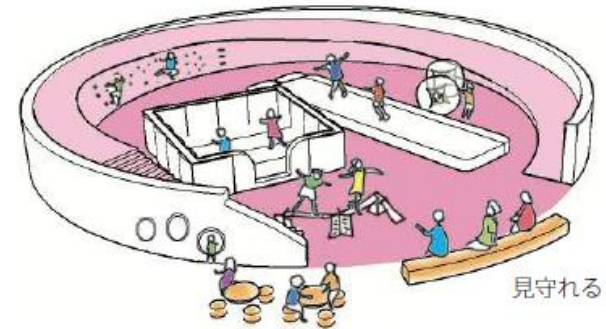
駆け付けられる



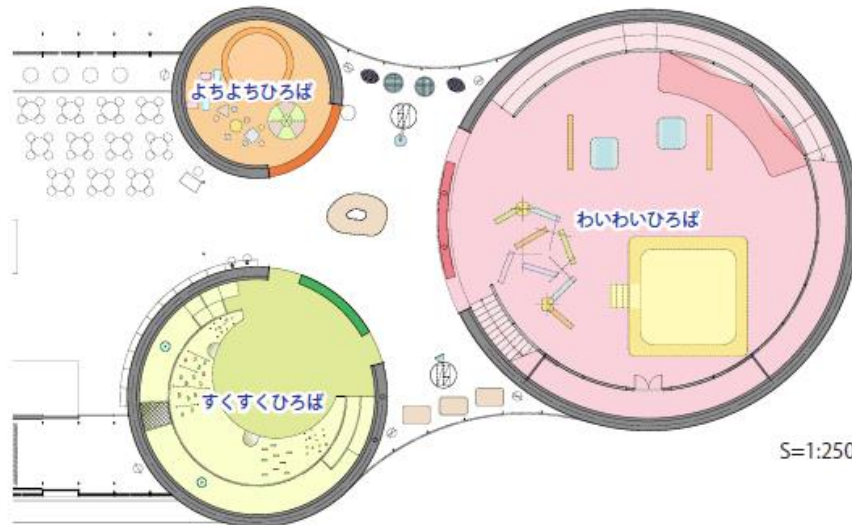
【わいわいひろば】

6～12歳を対象としたエリア

置き型の遊具を基本とするため遊具の変更やイベント（流行等）の実施が容易となり、大きな子どもたちが飽きずに日々違った遊びを体験できる



見守れる



6) 各ひろばの遊具選定—よちよちひろば



【よちよちひろば】  
0～2歳を対象としたエリア

①ポプルスシリーズ 乳幼児期に習いたい5つの動きを遊びながら習得できる遊具



②クッションブロック



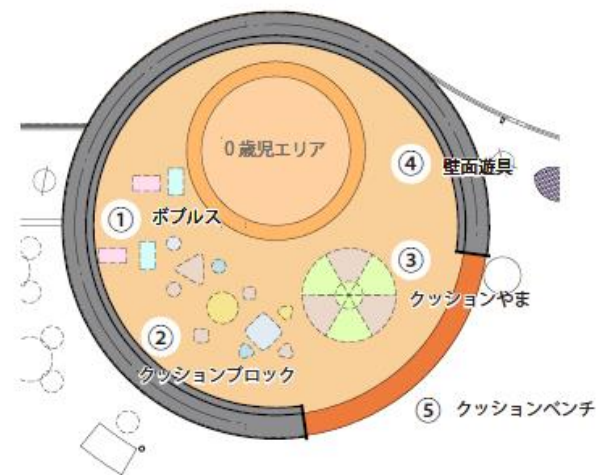
③クッションやま



④壁面遊具



⑤クッションベンチ ベンチ内には絵本やおもちゃ収納が可能



S=1:100

7) 各ひろばの遊具選定—すくすくひろば



【すくすくひろば】  
3～5歳を対象としたエリア

①クライミング



②トンネル



④ロープのぼり



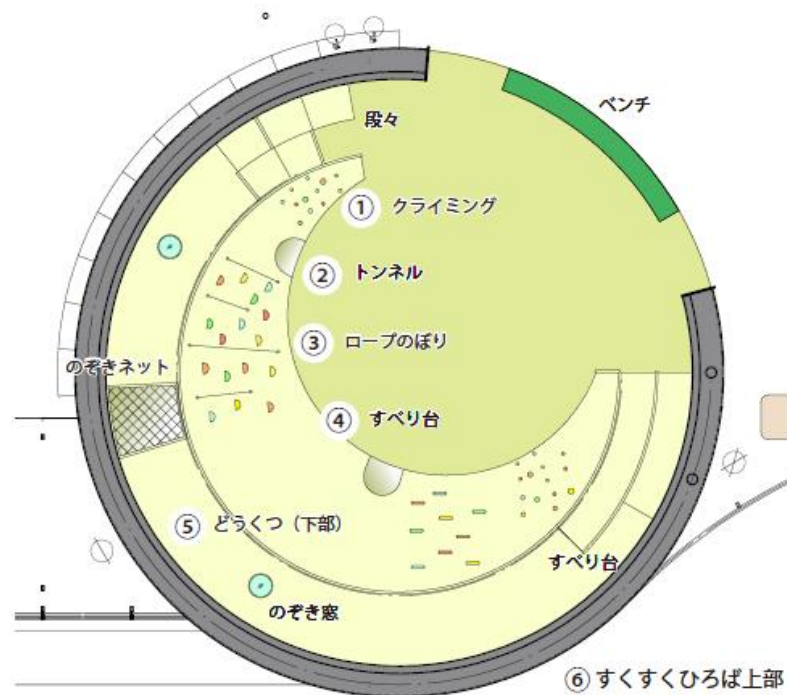
④すべり台



⑤どうくつ



⑥ネット遊具(小)



S=1:100

8) 各ひろばの遊具選定—わいわいひろば



【わいわいひろば】

6～12歳を対象としたエリア



①クライミングウォール



②サイバーホイール



③エアキャッスル



④エアトラック エア遊具入替制



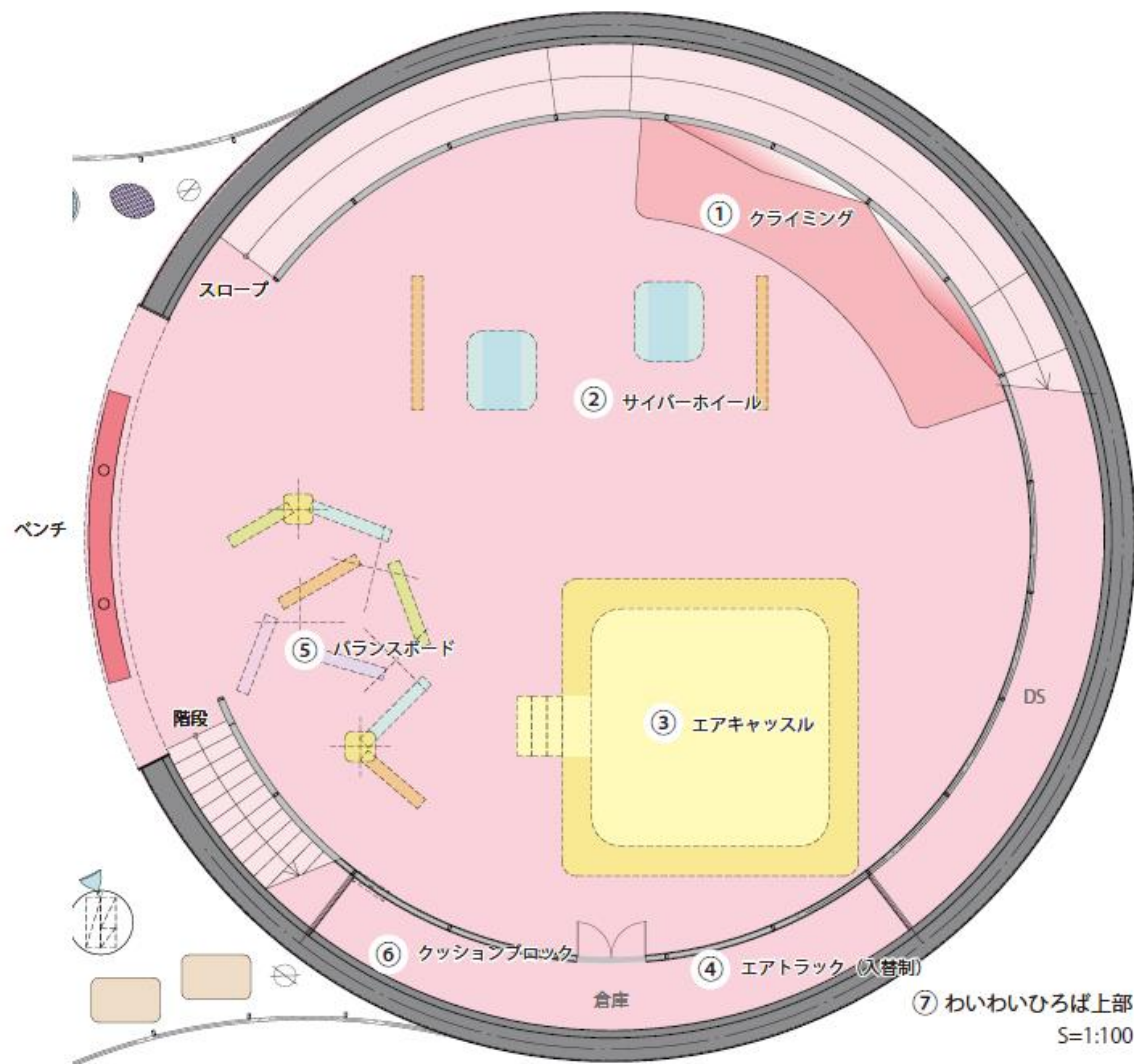
⑤バランスボード



⑥クッションブロック



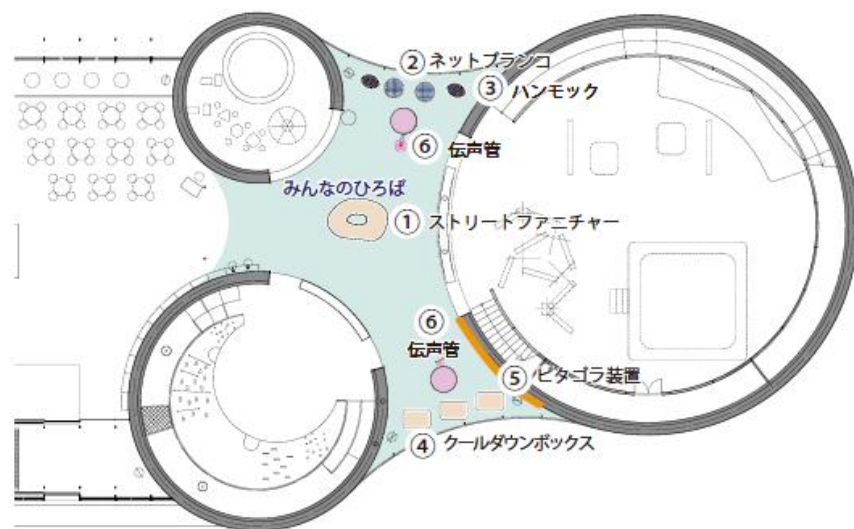
⑦ネット遊具(大)



9) みんなのひろば・つながりのみちの特徴

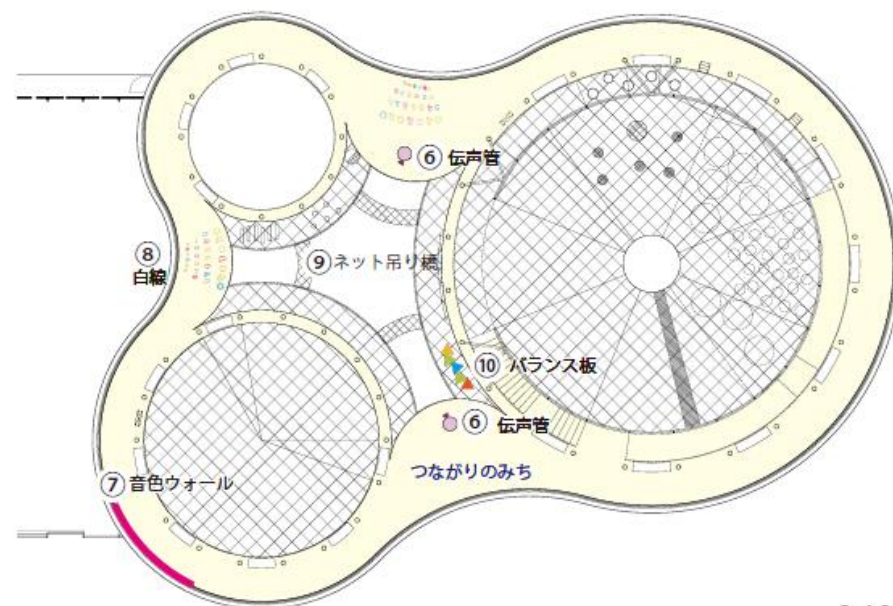
【みんなのひろば】  
遊び場の中心的な場所

静かな遊び場やクールダウンボックスがあり、  
誰もが落ち着いて居られる場所



【つながりのみち】  
五感で遊べる仕掛けがある道

触覚や聴覚を使って楽しみながら、  
新しい発見ができる場所



S=1:250





10) ネット遊具の選定

【ネット(小)】

揺れを感じながらバランス感覚を養う

ネット遊具に慣れていない子や  
障がいを持つ子も楽しめる  
平面的で安心して遊べる場所

【ネット(大)】

身体で自分の限界を感じながら楽しめる

立体的でダイナミックな動きに  
挑戦できる場所

ネット遊具小の使い方のイメージ



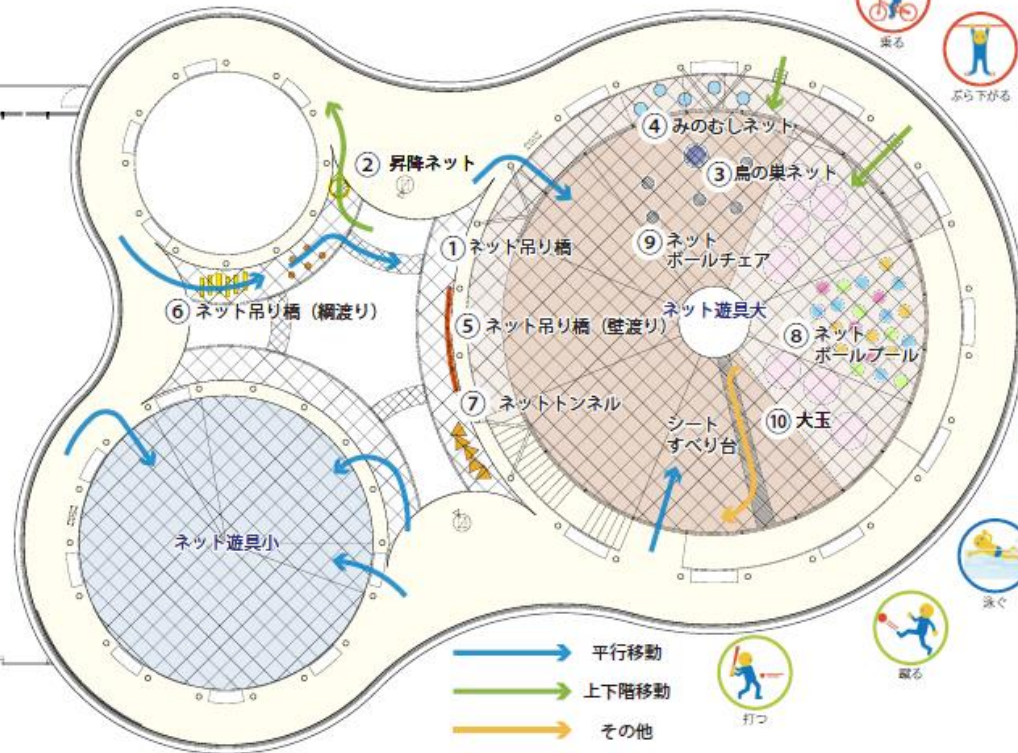
形状のイメージ1



形状のイメージ2



下からの見え方のイメージ



① ネット吊り橋



② 昇降ネット



③ 鳥の巣ネット(みんなで)



④ みのむしネット(ひとりで)



⑤ ネット吊り橋(壁渡り)



⑥ ネット吊り橋(綱渡り)



⑦ ネットトンネル



⑧ ネットボールプール



⑨ ネットボールチェア



⑩ 大玉

